

Julabo Case Study 09

JULABO PRESTO® A40

10Lのガラス反応容器で
-25°Cから+200°Cの加熱運転。



目的:

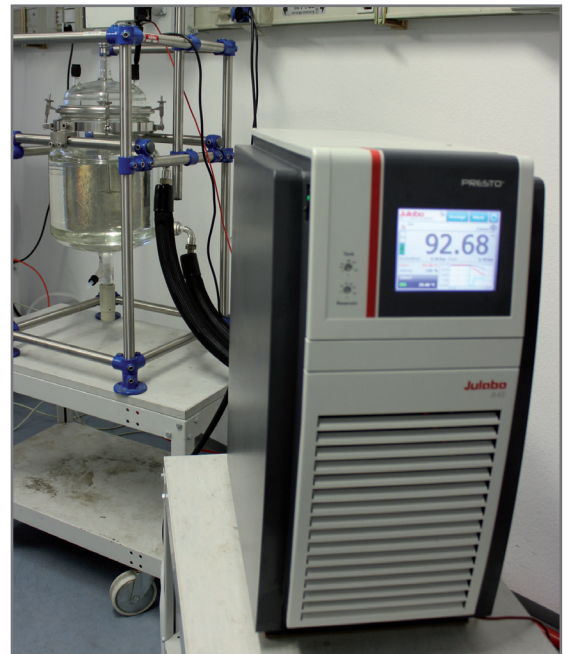
このケーススタディーは10リットルのガラス反応容器でJULABO PRESTO®A40の加熱運転テストをします。
A40と10リットルのガラス反応容器は2.0mのメタルチューブで接続されています。
A40は-25°C～+200°Cの加熱運転するようにプログラムされています。

試験条件:

使用機種	ユラボ社製 PRESTO® A40
冷却能力	+20°C 1.2kW 0°C 0.9kW -20°C 0.6kW
ヒーター容量	2.7kW
バンドリミット	設定していません
ポンプ圧	0.40bar
循環液	ユラボ社製 サーマルHL40
反応容器	10Lガラス製反応容器 (Normag) (容器内にはユラボ社製サーマルHL40を 10L充填しています)
温度制御	外部制御 (ICC)

環境:

室温 +20°C
湿度 45%
電源 230V/50Hz



試験結果:

次ページのグラフをご参照下さい。
A40は、オーバーシュートすることなく
2時間で-25°C～+200°Cへ加熱運転する事ができました。

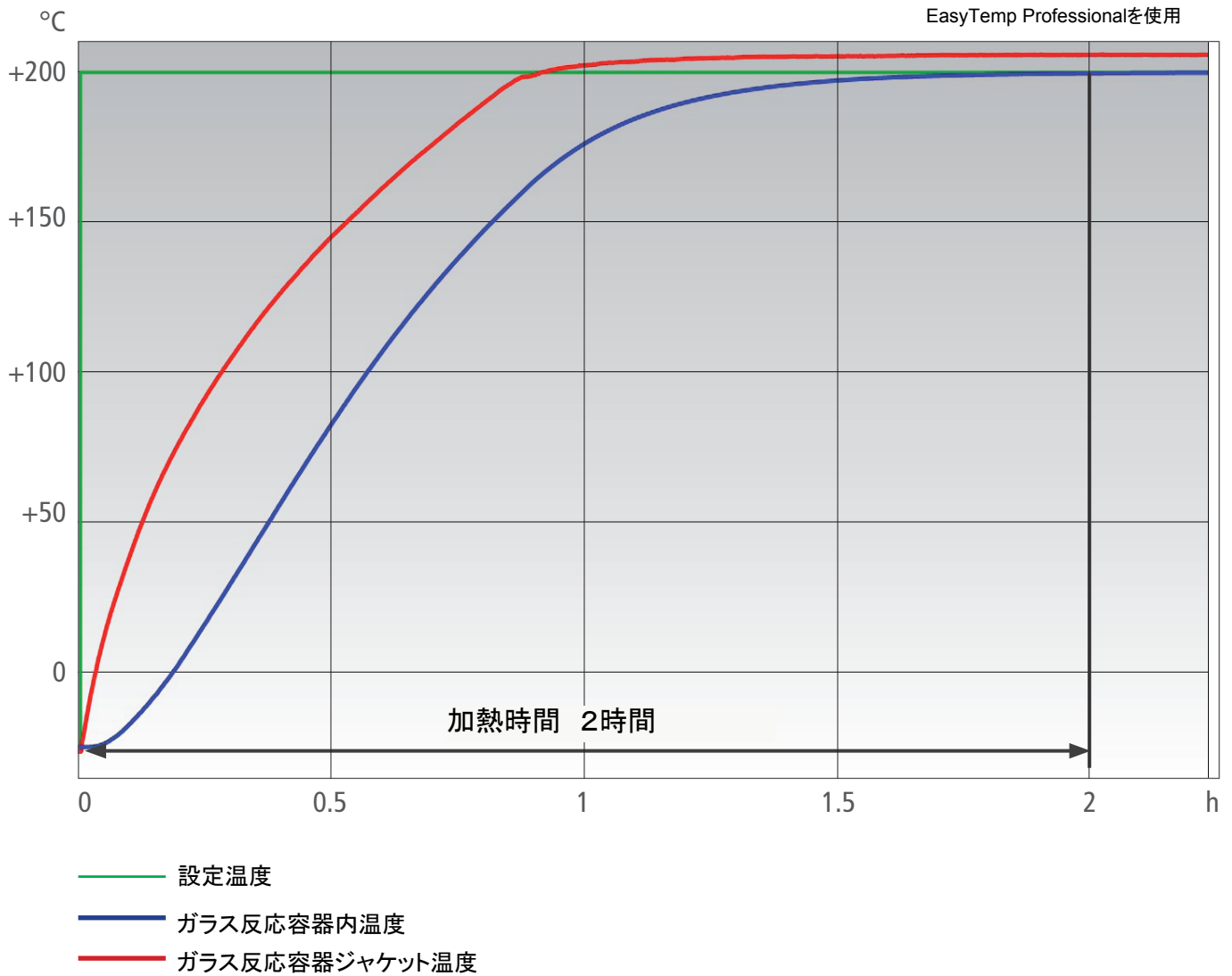
その他機能:

テフロンコーティングされたPt100センサーを使用しています。

次のページにも
情報があります >
>



JULABO GmbH
Eisenbahnstraße 45
77960 Seelbach / Germany
Tel. +49 (0) 7823 51-0



その他機能：
ポンプ圧力を調整するためのオプションがあります。ユーザーにて、ポンプ圧力を設定する事が出来ます。



その他機能：
PRESTOの機能をイーサネットインターフェイスにて操作する事が可能です。



JULABO GmbH
Eisenbahnstraße 45
77960 Seelbach / Germany
Tel. +49 (0) 7823 51-0